

生涯学習だより

2018年(平成30年)

2月 Vol. 199

生涯学習だよりはWEBでも配信中!フルカラーでご覧いただけます。 [ございんホール](#) [検索](#)

【開催】ございんまつり2018

3月3日(土)、ございんホールを会場に『ございんまつり』を開催します!バンドやよさこい、民謡舞踊、HIPHOPダンスなど幅広いジャンルのステージ発表を行います。観るだけでなくフラワーアレンジメントやビーズアクセサリー作り、コサージュ作り、絵手紙&ぬり絵などの体験ブースもあります。お昼の時間はすいとん汁を用意しています。(数に限りあり)

ございんまつりの入場料や体験料、飲食料はすべて無料です。

小さな子どもから大人まで楽しめるイベントです。ぜひご家族で遊びにお越しください。

- 開催日時/3月3日(土)午前10時~午後2時
- 会場/蔵王町ふるさと文化会館 多目的ホールほか
- お問い合わせ/蔵王町生涯学習課 電話 33-2018



【開催】仙台真田氏歴史セミナー

仙台真田氏ゆかりの郷にふさわしい著名人を招いて歴史対談を開催します。

参加無料で事前の申込みも不要です。

みなさんのご来場お待ちしております。

- 開催日時/3月18日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)
- 会場/蔵王町ふるさと文化会館 多目的ホール
- 内容/真田幸村と後藤又兵衛 ~大坂の陣二大英雄の生涯とその子孫たち~
- 出演者/講師 真田 徹 氏(真田幸村公14代ご当主) 後藤 基保 氏(後藤又兵衛基次公20代ご当主) 司会 小栗 さくら 氏(歴史タレント)
- 主催/蔵王町教育委員会
- お問い合わせ/蔵王町生涯学習課 電話 33-2018



【報告】地域学校協働活動事業「水辺の楽習(がくしゅう)」

1月30日(火)永野小学校3年生では水辺の楽習第4回目の縄ないが行われました。地域のボランティアの方々に講師をしていただき行っているこの活動は、これまで5月の田植え、7月の松川での生き物観察、10月の稲刈りを行い、今回の縄ないで最終回となります。ボランティアの方が前日に水に浸し準備して下さったひとめぼれのわらをすき、児童が順番につつぽで叩いて柔らかくしてから縄のない方を教わりました。初めて縄のないをする児童がほとんどでしたが、手とり足とり教えていただき、皆縄跳びができるほど長く上手になることができました。



【お知らせ】新生活準備コーナー展示中

2月~4月の期間、蔵王町立図書館内に「新生活準備コーナー」を設置しています。小学校や幼稚園・保育所に行くのが楽しみになる本やリーフレットを集めました。おうちの方の気持ちに寄り添う絵本や子育てのヒントになる本もありますので、ぜひご覧ください。

◎蔵王町オリジナルの新生活支援グッズを配布しています。

こちらはご自由にお持ち帰りいただけます。

- 紙芝居「できるかな」(冊子版)
- 保護者向け「できるかな」
- 「はやね はやおき あさごはん」チェックシート
- コラム集「ございん家のつぶやき」など



【報告】蔵王町ふるさと文化会館事業「家族で楽しむ新春コンサート」

1月28日(日)蔵王町ふるさと文化会館事業「家族で楽しむ新春コンサート」を開催しました。

仙台出身のピアニスト中川賢一さんと金管五重奏団 Buzz Five (バズファイブ)さんにクラシックからお馴染みの名曲まで演奏していただきました。演奏の間には楽器の特徴や曲の解説もあり、子どもたちにもわかりやすいコンサートとなりました。また、コラボレーション企画として蔵王町合唱団「歌おう会」と有志小学生によるピリブの合唱が行われました。コンサート終了後はサイン会が開催され、来場者とアーティストの交流の場となりました。



【報告】仙南ふるさとC-M(コミュニティメディア)グランプリ

2月6日(火)えずこホールにて、自作視聴覚教材の発表・審査会が開催されました。

視聴覚教材とは、教育を目的とした映像や紙芝居などの教材です。

蔵王町からは永野小学校の鈴木哲也先生が、永野小学校6年生が校外学習(学区内歴史めぐり)を行う前の学習意欲向上を考え制作した「蔵王町の歴史 事前学習映像」という作品を出品し、奨励賞を受賞されました。蔵王町の歴史や史跡等の「なぜ?」と感じる部分をまとめた映像で、分かりやすく、観ると興味が湧いてくる作品となっています。

これらの作品は団体単位であれば、どなたでも使用することができます。歴史や文化など分かりやすく学ぶことができますので、ぜひご活用ください。

教材の貸し出し・お問い合わせ/蔵王町生涯学習課 電話 33-2018

【報告】地域学校協働活動事業「古い道具と昔の暮らし」

町内の各小学校3年生社会科で「古い道具と昔の暮らし出前授業」が行われました。生涯学習課文化財保護係の職員を講師に、かつて蔵王町で実際に使われていた道具約40点を持ち込み、クイズ形式で現代と当時の暮らしを比較したり、古い道具の名前や使い方を教わるなど理解を深めていきました。児童たちは初めて見る道具も多く質問タイムでは積極的に手を上げ講師に質問していました。



問い合わせ/蔵王町ふるさと文化会館

電話: 33-2018 FAX: 33-2019

平成30年2月15日発行

編集 蔵王町教育委員会生涯学習課